アルミ押出工場の等速・等温押出システム2025



アールシーデジタル有限会社

http://www.rcdigital.co.jp

2025/09/01

目次

1 アルミ押出工場の等速・等温押出システム2025

3. アルミ押出の生産性を向上させ、メンテナンス・データ解析に役立つ3つのプログラム

4. システム構成

目次

5. システム構成の例 (等速押出/等温押出)

。 Plcインターフェイスデータ(RcdWin)

7. 等速押出(RcdWin)

-制御画面

-オーバーシュート防止

-立ち上がり調整の自動化

-圧力制限

-最小構成

-油圧変動補正(新型押出機と旧型押出機)

13. **等温押出(**RcdWin) - 定常温度による等温押出

4. 押出管理(EM)

15. 押出データ解析 (EDA)

-ダイス選択とアイドル時間グラフ

16. -ダイス使用履歴と押出ビレット表

17. -押出ビレット一覧表と押出グラフ

18. -リアルタイムモニタとダイス単位グラフ

19. -作業日報の自動作成

20. リモートメンテナンス

アルミ押出の生産性を向上させ、メンテナンス・データ解析に役立つ3つのプログラム

等速·等温押 出(RcdWin)

- ダイス毎に、自動的に、オーバーシュートを抑えて、立ち上げを早くします。
- ラムトルク関係式、立上係数、等速パラメータを自動で調整します。
- ・油圧の変動を補正して等速押出をするので、制御がロバストであり長時間の押出時間に対応します。
- 定常温度を自動取得して、定常温度による等温押出を行います。

押出管理(EM)

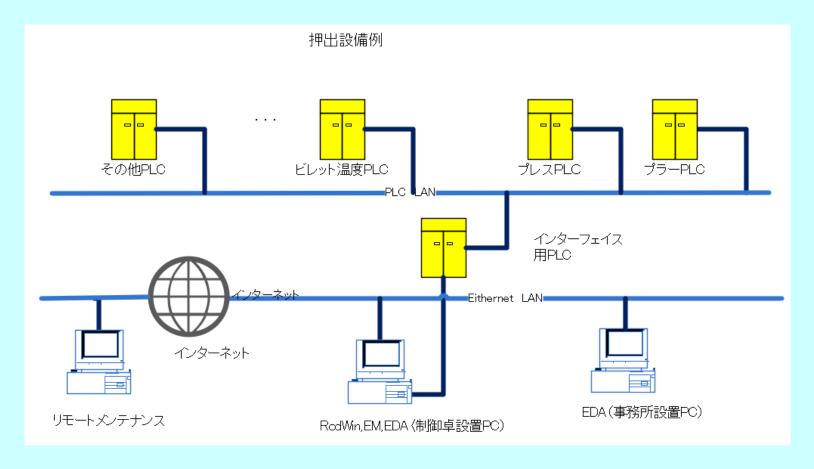
- ダイス単位に、押出速度などの押出パラメータをデータベースに登録・検索します。
- ダイス単位のスケジュールに応じて、押出作業ができます。
- ・等速押出と等温押出の切り替をEMで行います。

押出データ解 析 (EDA)

- ダイス単位の押出ビレット表、押出グラフで、押出データの解析ができます。
- ダイス単位の作業日報を出力します。
- ダイス単位の押出履歴が検索できます。

システム構成

- 1. パソコン1台とLANで接続するインターフェイス用のPLC1台です。
 - 1 3個のプログラムは1台のパソコンで動作します。
 - 2. パソコンのLANポートは2個用意して、1個はPLC用、2個目はインターネット用です PLCは設備と信号データのやりとりを行うためです。
- 3. インターネット用LANが必要です。
 - 1. インターネットを利用してリモートでのメンテナンスを行います。



システム構成の例

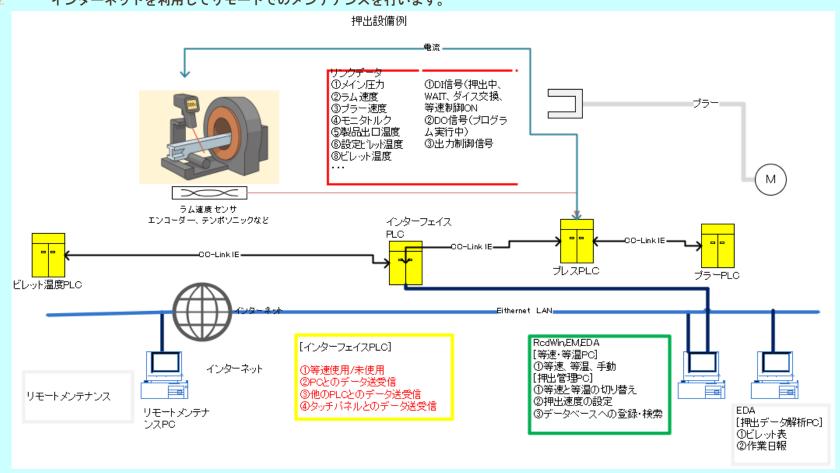
(等速押出/等温押出)

等速押出

- アナログインデータは、メイン圧力、ラム速度、モニタトルクが必要です。
- 2. デジタルインは、押出中、サイクルストップ(Wait)、ダイス交換、等速使用/未使用が必要です。
- 3. アナログアウトは、出力制御トルク。
- 4. デジタルアウトは、等速プログラムが稼働中。

等温押出

- 1. 製品出口温度。
- 1. PLCネットワークは、CC-Link IE フィールドネットワーク、FEnetなどです。
- インターネットを利用してリモートでのメンテナンスを行います。



PLCインターフェイスデータ (RCDWIN)

Plc interfa	e data setting										-	0	Plc in	erface data sta	ntus	Da status interval	5	[Sec. ex.10		Cancel
Plc int	Plc interface data setting OK Cancel											interval ex.10								
Iten	Tag name	comment		Plc No.	Plc device	Word count	Lower	Higher	Lower limit of	Higher limit of	Lower limit of	Highe	Item	Tag name	comment	type	Plc device	Word	DaV status	Da unit status
•	DI0-15 DI16-31	DI DI002	AI	PLC1	D100	36	0	1	0	1 1	0)	DI0-15	DI	AI	D100	36	0000	00000000000000000
		1	-	PLC1	D101	0	0	1000	0	10	0		2	DI16-31	DI002		D101	0	0000	00000000000000000
		ALR.R.		PLC1	D103	0	0	300	0	10	0		3	設定ボリューム(プリセット)	1		D102	0	0	0.0
	トルク(流量)	AI Torque		PLC1	D104	0	0	16000	0	10	0								U	
	圧力	AI Pressure		PLC1	D105	0	0	300	0	10	0		4	設定ラム速度	AI R.R.		D103	0	0	0.000
- 1		AI Puller		PLC1	D106	0	0	1000	0	10	0		5	トルク(流量)	AI Torque		D104	0	0	0.0
8		AI Ram		PLC1	D107	0	0	12000	0	8.833	0		6	圧力	AI Pressure		D105	0	0	0.0
1		AI Ram position AI Billet L.	-	PLC1	D108	0	0	1000	0	10	0		7	プラー速度	AI Puller		D106	0	0	0.0
		AI Profile Temp.		PLC1	D109	0	0	10000	0	10	0			ラム速度	AI Ram		D107	0	0	0.0
1		AI B. Temperature		PLC1	D111	0	350	600	0	10	350							U	U	
1	3 設定ビレット温度	AI R. B. Temperature		PLC1	D112	0	350	600	0	10	350	_	9	ラム位置	AI Ram position		D108	U	0	0.0
1	# 設定ビレット温度2	AI B.R. B. Temperature2		PLC1	D113	0	350	600	0	10	350		10	ビレット長	AI Billet L.		D109	0	0	0.0
1	5 Taper zone temperature5	AI B.T.Taper Z5		PLC1	D114	0	350	600	0	10	350		11	製品温度	AI Profile Temp.		D110	0	0	0.0
1		AI B.T.Taper Z4		PLC1	D115	0	350	600	0	10	350		12	ビレット温度	AIB. Temperature		D111	0	0	0.0
1		AI B.T.Taper Z3 AI B.T.Taper Z2		PLC1	D116	0	350	600	0	10	350		18	設定ビレット温度	AI R. B. Temperature		D112	0	0	0.0
1		ALB.T.Taper Z2		PLC1	D117	0	350 350	600	0	10	350 350				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				U	
2		AI Puller tension		PLC1	D119	0	0	1	0	1	0		14	設定ビレット温度2	AI B.R. B. Temperature2		D113	0	0	0.0
2		Al Container T1		PLC1	D120	0	350	600	0	10	350		15	Taper zone temperature5	AI B.T.Taper Z5		D114	0	0	0.0
2	2 コンテナ温度2	Al Container T2		PLC1	D121	0	350	600	0	10	350		16	Taper zone temperature4	AI B.T.Taper Z4		D115	0	0	0.0
2	3 コンテナ温度3	AI Container T3		PLO1	D122	0	350	600	0	10	350	-	13	Taper zone temperature3	AI B.T.Taper Z3		D116	0	0	0.0
2		AI Container T4		PLC1	D123	0	350	600	0	10	350		-		<u>'</u>					
2		AI Puller distance		PLC1	D124	0	0	1000	0	10	0		18	Taper zone temperature2	AI B.T.Taper Z2		D117	0	U	0.0
2		AI Billet number AI Billet T1 Gas furnace		PLC1	D125	0	0	1	0	1	0		19	Taper zone temperature 1	AI B.T.Taper Z1		D118	0	0	0.0
2		Al Billet TI Gas furnace Al Billet TI Gas furnace		PLC1	D126	0	0	1	0	1	0		20	プラー張力	AI Puller tension		D119	0	0	0.0
2				PLC1	D128	0	0		0	1	0		2	コンテナ温度1	AI Container T1		D120	0	0	0.0
3		AI TA CT T6		PLC1	D129	0	0	1	0	1	0		22	コンテナ温度2	AI Container T2		D121	0	0	0.0
3	1 テーパー指令DT	ALTA CT DT		PLC1	D130	0	0	1	0	1	0	-								
3	P1 Base Torque	AI P1 Base Torque		PLC1	D181	0	0	1	0	1	0	_	28	コンテナ温度8	AI Container T3		D122	0	0	0.0
3		AI P2 Base Torque		PLG1	D132	0	0	1	0	1	0		24	コンテナ温度4	AI Container T4		D128	0	0	0.0
3		AI Stretch length		PLC1	D133	0	0	1	0	1	0		25	押出長	AI Puller distance		D124	0	0	0.0
3		AI Butt thickness AI B.T.Taper Z6		PLC1	D184	0	350	600	0	1	0		26	Billet number	AI Billet number		D125	0	0	_0.0
3		ALB.I.Taper 26	AO		D135	4	350	16000	0	10	Plc interface	Di data								-"" 🗆
3	mo (V)(S) I	Torque	MU	PEGI	D0100		0	10000		10										

Plc interface Di data

20001

OFF ON signal for using high-pressure mold

OFF ON signal for keep-alive

DA BIT Bit Bits Discription

Plcインターフェイスデータ

- RcdWinでPLCインターフェイスデータをセットします。
- ・右上: アナログデータのスケールや単位を設定します。
- ・左上: 現在のアナログデータ、DIの値が表示されます。
- ・右下: DIのデータの設定です。よく使用するのは、

押出中、

サイクルストップ、

等谏使用、

ダイス交換の4個しかありません。つまり、この4個をインターフェイスPLCに送信すれば、RcdWinが動きます。

F	20000	0	used	OFF	ON signal during extrusion	Start
	20000	1	used	OFF	ON signal for stopping during extrusion, extrusion resumes when OFF	Wait
	20000	2	used	OFF	ON signal for constant speed extrusion	Constant speed
	20000	3	x	OFF		
	20000	4	×	OFF	ON signal for inclined extrusion	Slope
	20000	5	×	OFF	This function is deleted	First billet with a new mold
	20000	6	×	OFF	Billet Cut signal	
	20000	7	×	OFF		
	20000	8	x	OFF		
	20000	9	x	OFF		
	20000	10	×	OFF		
	20000	11	×	OFF		
	20000	12	x	OFF		
	20000	13	x	OFF		
	20000	14	×	OFF		
	20000	15	x	OFF		
	20001	0	used	OFF	ON signal during mold change	Mold change
	20001	1	×	OFF		1
	20001	2	×	OFF		2
	20001	3	used	OFF	ON signal during extrusion management usage	Use extrusion management
	20001	4	×	OFF		
	20001	5	×	OFF		
	20001	6	×	OFF		

[Sec.] ex.10

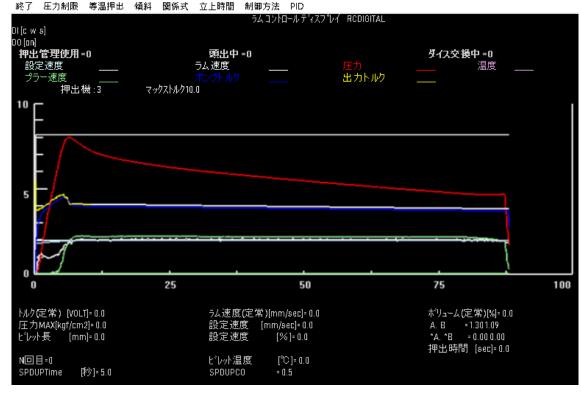
High-pressure mold

等速押出(RCDWIN)-制御画面

グラフの線の名称

```
    水色 設定速度
    白色 ラム速度
    赤色 圧力
    緑色 プラー速度
    青色 モニタトルク 実際にポンプ出力されているトルク信号
    黄色 RcdWinによるトルク信号(定常になると白くなる。)
    約8Vの白色 圧力制限値
```

RcdWin(押出機速度制御コントローラ) - RCDIGITAL



開始から5秒ぐらいで、ラム速度が等速になっています。

等速押出(RCDWIN)-オーバーシュート防止

オーバーシュート防止

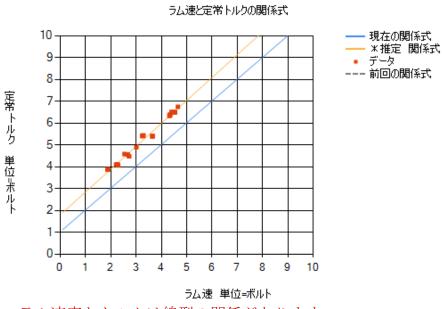
- 1. トルクーラム速度関係式により、ラム速度の立ち上がりを予測して、オーバーシュート防止します。
- 2. 普通のPID制御では、オーバーシュート量が大きいです。

生產性向上

- 1. オーバーシュート防止で、押出設定速度を高くでき、生産が上がります。
- 2. 作業者不要の設定速の自動調整で、長時間押出の油圧変動を補正して等速制御を行います。

メンテナンス性向上

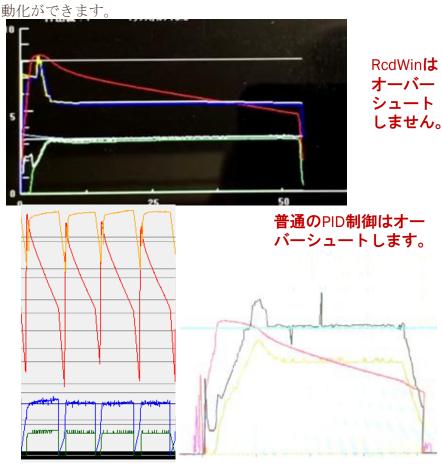
1. ラムトルク関係式、立上係数、等速パラメータの自動化ができます。



ラム速度とトルクは線型の関係があります。

注>トルクという言葉は、油の流量の意味で使用しています。 1番目は、手動、2,3,4番目は等速。手動でも等速でも、ノイズに変化はありません。

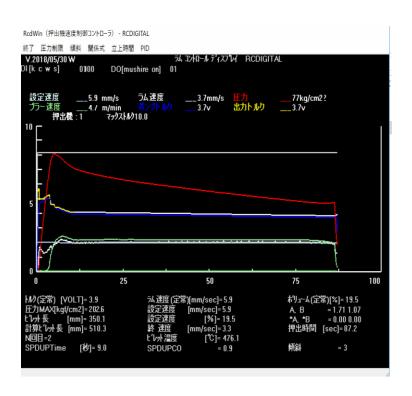
注>等速押出をしても、ラム速が奇麗になるわけではありません。通常、ラム速度には1秒ぐらいの周期的なノイズが乗っています。



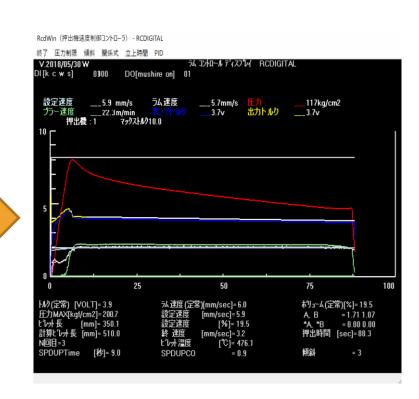
等速押出(RCDWIN)-立ち上がり調整の自動化

オーバーシュートを抑えて、立ち上がり時間を早くするように自動調整。

- ・ダイスが変わっても自動的に立ち上がりを調整します。
- ・自動化パラメータは、立上係数と立上時間です。

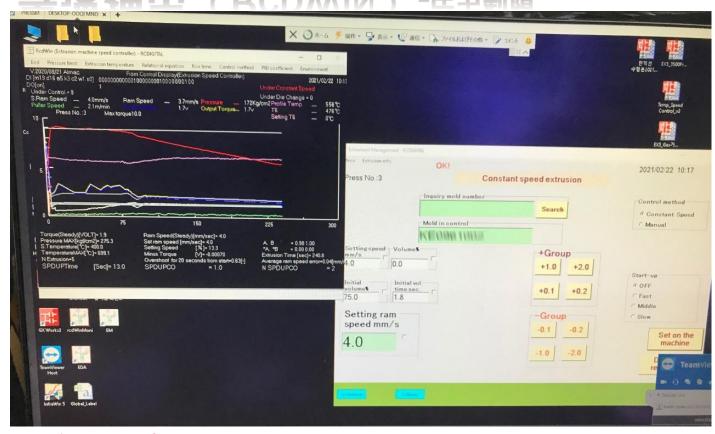


立上係数が1.0でオーバーシュートしました。



立上係数が自動的に0.9なりました。オーバーシュート殆どしなくなりました。

等速押出(RCDWIN)-压力制限



オーバーシュート防止

- ・図で分かるように、押出設定速度近辺で、動的に設定速度を微調整します。これは、オーバーシュートを防止です。
- ・押出設定速度の変更は、通常は作業者が行いますが、RcdWinは自動で行います。省人化になります。オーバーシュートを防止するために使用されているPIDパラメータの調整が必要なくなりました。

圧力制限

- ・圧力がリリーフ圧力を 超えると、押出速度は殆 ど上昇しません。

多少、立ち上がりが遅く なるかもしれませんが、 省エネ効果とトラブル防 止で、結果的に生産性を 向上します。また、機械 を長く使用するために使 用することもあるようで す。

等速押出(RCDWIN)—最小構成

最小構成

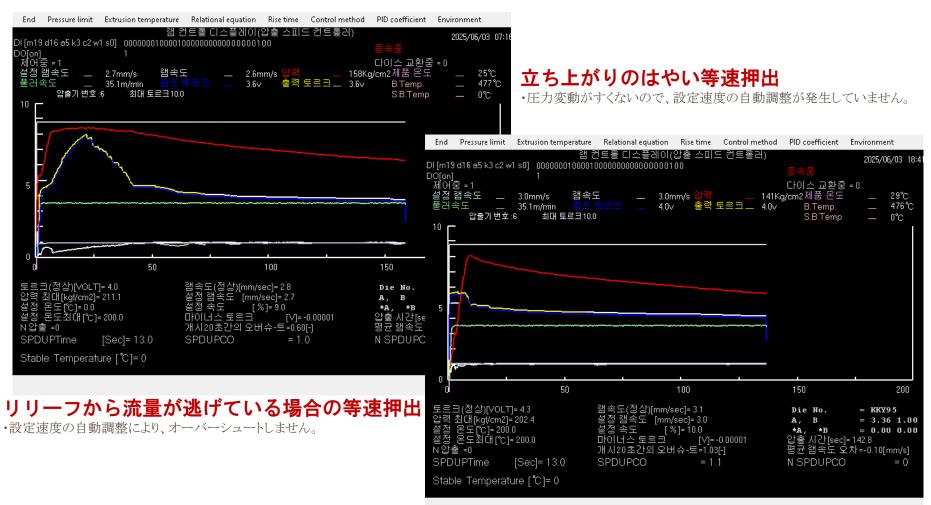
ラム速度、

圧力、

モニタトルク

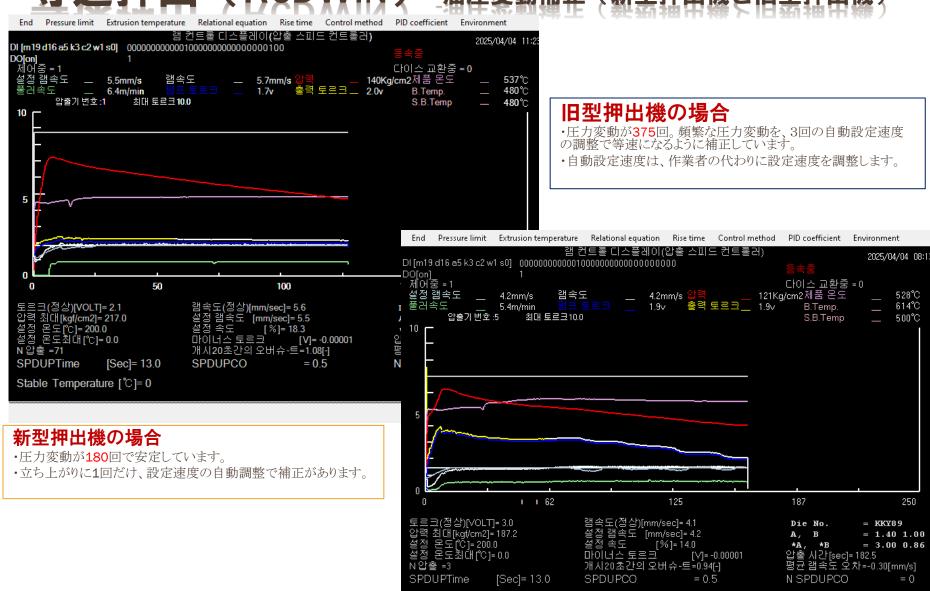
の3個のデータがあれば、等速押出が可能です。

設備改造業者は、1計測データ単位で工事を見積もると思います。少ないデータで等速制御ができるのは、工事の費用が安くなるので工場のメリットになります。



等速押出(RCDWIN)

-油圧変動補正(新型押出機と旧型押出機)

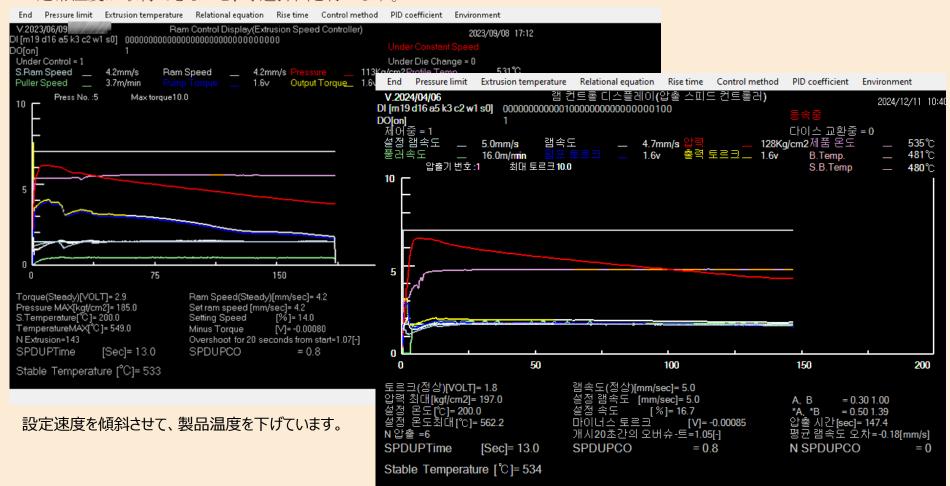


Stable Temperature [°C]= 537

等温押出(RCDWIN) -定常温度による等温押

等温押出

- ・等速押出を行うと、自動的に設定温度を計算して、等温押出を行います。
- ・ビレットテーパーやビレット温度、定常温度をビレット表で確認できます。
- ・製品温度が定常温度からずれると、微調整を行います。
- ・定常温度が取得できないと、等速押出を行います。



押出管理(EM)

- 1. 等速押出、等温押出のパラメータをダイス単位での登録、変更、検索。
- 2. 押出速度の設定。
- 3. スケジュール管理。
- 4. 等速押出/等温押出/手動の切り替え。



等速押出(RcdWin)と押出管理(EM)

• EMで設定速度をセットして、RcdWinで等速押出を実行しています。

押出データ解析(EDA)

-ダイス選択とアイドル時間グラフ

特徴

・押出データ解析、作業履歴、押出ビレット表、作業日報の作成。

各種機能

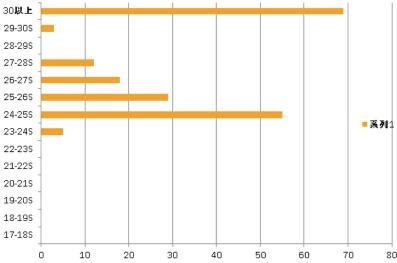
4.

- 押出ビレット表、作業日報。
- 設備の異常データの検出
 - 非押出時間(アイドルタイム)のグラフ、チョコ停、ダイス交換時間のCSV化。
- 押出パラメータのダイスごとの履歴。
- 5. リアルタイムモニタ。
- 6. 押出データグラフ。



非押出時間Xlsxファイル

- 1. [非押出時間Xlsxファイル]をクリックします。
- 2. StartとEnd期間のアイドル時間が、グラフでXIsxファイルに出力されます。



- ・[ダイス型番]を選択して、[履歴]クリックします。
- ・[ダイス使用履歴]画面に遷移します。

押出データ解析(EDA) -ダイス使用履歴と押出ビトット表画面

ダイス使用履歴

- 1. 同じダイスの使用履歴を新しいものから順番に表示します。
- 2. 選択した日のダイスの押出パラメータを下段の表に表示します。
- 3. 押出管理責任者はパラーメータの遷移を調べることができます。
- 4. 作業者にパラメータ変更の理由を聞くことができます。特に、押出速度の変更は生産性に直結するので、重要項目です。
- 5. [押出ビレット表]を実行すると、選択した日のダイスの押出の帳票印刷画面に遷移します。



Billet Table

印刷

Graph

All graphs

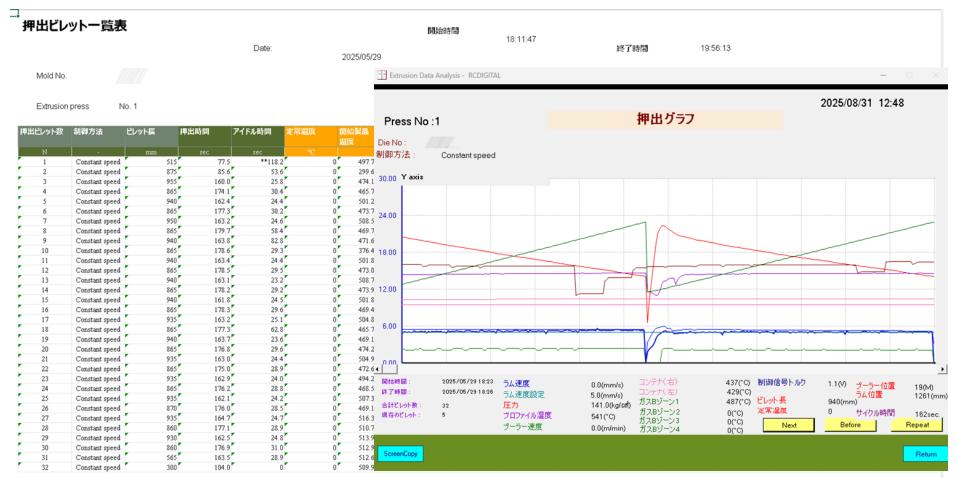
押出データ解析(EDA) -押出ビトット一覧表と押出グラマ

押出ビレット一覧表

- ・ダイス単位の情報:ダイス番号、1本目の開始時間と最後ビレットの終了時間など。
- ・ビレット単位の情報: 設定ラム速度、ラム速度、プラー速度、メイン圧力、Maxメイン圧力、Maxメイン圧力継続時間など。
- グラフにする項目は選択できます。
- ・帳票はExcelです。

押出グラフ

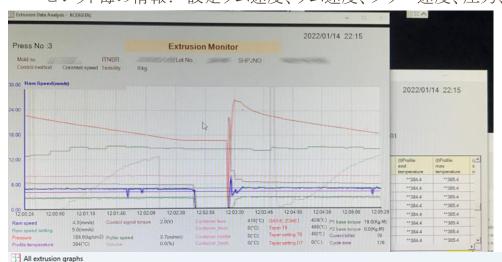
- ・帳票のデータをグラフで表示。
- ・左側が手動: ラム速度がゆっくり上昇しています。
- ・右側が等速: ラム速度は設定速度に従っています。上昇しません。しかし、ラム速度は手動と同じように機械の周期的な振動やノイズが観測できます。
- ・これは、ノイズがあっても、等速押出ができるので、ロバストな等速制御が実行されていると理解できます。



押出データ解析(EDA) -リアルタイムまニタとダイス毎のグラス

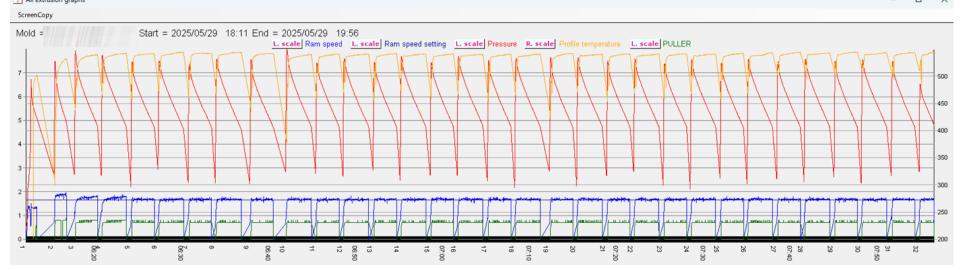
リアルタイムモニタ

- ・押出状況をリアルタイムのグラフで見ることができます。
- ・ダイス毎の情報:ダイス番号など。
- ・ビレット毎の情報: 設定ラム速度、ラム速度、プラー速度、圧力、ビレット長など。



ダイス毎の押出グラフ

- ・ダイス毎にすべての押出グラフを1枚の図で表示できます。
- ・1本目は頭出しと手動押出、2本目は手動押出、3本目は手動押出、4本目以降は等速押出です。



押出データ解析(EDA)-作業日報の自動作成

作業日報入力画面

- ・自動計算で、押出金型番号、押出時間、ビレット本数、ビレット長さ、ビレット重量などが表示されます。。
- ・オレンジの部分が自動で計算される項目です。



リモートメンテナンス

- 1. リモートサポート、常時監視の3つのメンテナンス方法があります。リモート監視用のソフトTeamViewer Host.exeをインストールすると、常時監視ができます。
- 2. 押出の調査依頼時に、等速押出パソコンにログインして、押出データを調査します。等速押出パソコンには、過去の押出状況が再現できるように、データ がログされています。
- 3. 調査時には、ローカルなネットワークをインターネットのネットワークに接続する必要があります。これは、ローカルネットワーク用のハブに、インターネットの LANケーブルを差しこんで行います
- 4. リモートメンテナンスは、日本だけではなく、韓国の工場に対しても行っています。
- 5. TeamViewerは、ファイアウォール、プロキシ設定も自動で検知し、リモート監視ができます。通信は暗号化されています。

